

“公益法人会計 D4” の勘定科目設定

らくらく会計は、通常の複式簿記の仕訳を行うことにより、貸借対照表(B/S)、事業活動収支計算書(P/L)、資金収支計算書(C/F)が同時に作成できます。

勘定科目はほぼ自由に設定できますが、基本的には会計基準で示されている勘定科目に必要なに応じて追加して運用してください。正常な会計処理を行うためには、次の点に注意しながら科目の設定をしてください。

1. らくらく会計の仕組み

らくらく会計では、通常の複式簿記と同じように BS(資産・負債・純資産)科目と PL(収益・費用)科目で仕訳をおこない、資金収支計算書は自動作成しています。

そのため勘定科目の設定では、次のようなルールが必要になります。

基本となる約束だけを最初に説明して、そのほかの詳細なルールは必要な時にその都度説明します。

2. 科目の属性

初期設定メニュー ⇒ 勘定科目設定 に進みます。

勘定科目の設定画面を開くと、次のような画面になります。

科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
▶10000	【資産の部】	9	1	0					
11000	流動資産	3	1	0					
11010	現金預金	1	1	0					
11020	現金	0	1	0	1		1		
11030	小口現金	0	1	0	1		1		
11040	当座預金	0	1	0	1		1		
11050	くじら銀行	0	1	0	1	1	1		
11051	らっこ銀行	0	1	0	1		1		

FlgA,B,C... は勘定科目の性格を決める重要な属性です。らくらく会計では、これを科目のフラグ（旗）といいます。

勘定科目のフラグは次のような約束にしています。

FlgA	0=仕訳をする科目 1=小科目の計 2=準大区分の計 3=大区分の計 4=〇〇部の計 5, 6, 7=集計科目 9=コメント行
FlgB	1=B/S科目 2=P/L科目
FlgC	0=借方科目 1=貸方科目
小科目	1=小科目を設定
補助科目	1=補助科目を設定
FlgG	1=現金預金など、資金収支で支払資金となる科目は“1”を入れてください。

	そのほかの設定値は変更しないでください。
FlgH	21～59＝資金収支との連携科目

上記以外にもシステムの処理で使う属性がありますが、既定値は変更しないでください。
また、資金収支科目において” # ” や” — ” で始まる科目は変更しないで下さい。

3. 科目編集の基本操作

科目の挿入

挿入したい場所の一つ下にカーソルポインタを移動させて「+」をクリックしてください。

科目の削除

削除したい場所にカーソルポインタを移動させて「-」をクリックしてください。

変更の確定

「✓」または、カーソルポインタを他の行に移動してください。

4. 科目の整列順

勘定科目(B/S,P/L) 科目コードの番号順に整列します。科目コードは5桁の数値です。	資金収支科目(C/F) 資金収支の科目は、「連番」順に整列します。																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">勘定科目(B/S,P/L)</th> <th colspan="2">資金収支の科目(C/F)</th> </tr> <tr> <th>科目コード</th> <th>科目名</th> <th>連番</th> <th>科目コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10000</td> <td>【資産の部】</td> <td>1000</td> <td>【事業活動による収支】</td> </tr> <tr> <td>11000</td> <td>流動資産</td> <td>7300</td> <td>45000 保育事業収入</td> </tr> <tr> <td>11010</td> <td>現金預金</td> <td>7400</td> <td>45100 施設型給付費収入</td> </tr> <tr> <td>11020</td> <td>現金</td> <td>7500</td> <td>45110 施設型給付費収入</td> </tr> <tr> <td>11030</td> <td>小口現金</td> <td>7600</td> <td>45120 利用者負担金収入</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>7700</td> <td>45200 特例施設型給付費収入</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>7800</td> <td>45210 特例施設型給付費収入</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>7900</td> <td>45220 利用者負担金収入</td> </tr> </tbody> </table>	勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)		科目コード	科目名	連番	科目コード	10000	【資産の部】	1000	【事業活動による収支】	11000	流動資産	7300	45000 保育事業収入	11010	現金預金	7400	45100 施設型給付費収入	11020	現金	7500	45110 施設型給付費収入	11030	小口現金	7600	45120 利用者負担金収入			7700	45200 特例施設型給付費収入			7800	45210 特例施設型給付費収入			7900	45220 利用者負担金収入	
勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)																																							
科目コード	科目名	連番	科目コード																																						
10000	【資産の部】	1000	【事業活動による収支】																																						
11000	流動資産	7300	45000 保育事業収入																																						
11010	現金預金	7400	45100 施設型給付費収入																																						
11020	現金	7500	45110 施設型給付費収入																																						
11030	小口現金	7600	45120 利用者負担金収入																																						
		7700	45200 特例施設型給付費収入																																						
		7800	45210 特例施設型給付費収入																																						
		7900	45220 利用者負担金収入																																						

科目を挿入したい場合は、挿入したい場所の前後の番号の間の任意の番号を入れてください。

5. 勘定科目の名称変更

科目名の欄にカーソルを移動させて、科目名をしてください。

例) 預金 1 ⇒ チューリップ銀行

11010	現金預金
11020	現金
11040	チューリップ銀行(7654321)
11060	預金 2
11080	預金 3

6. 科目の挿入

- 科目挿入をしたい位置の一つ下にカーソルポインタを移動して、「+」をクリックしてください。次の例のように、一行の空白が出来ますので、ここに新しい科目を入れて下さい。
- 勘定科目の科目コード
科目コードは前後の科目コード間の数値で決めてください。
科目コードが重複するとエラーになります。番号を詰めてしまうと以後は挿入が出来なくなりますので、余裕を持った科目コード付けをすすめます。
- 科目名を入れ、FlgA,FlgB,FlgC 等を入れます。

資金収支科目へのコードジャンプ									
前方検索					後方検索				
勘定科目(B/S P/L)					資金収支の科目(C/F)				
科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
11000	流動資産	3	1	0					
11010	現金預金	1	1	0					
11020	現金	0	1	0	1		1		
11030	預金 1	0	1	0	1		1		
11031	預金 2	0	1	0	1		1		
11032	預金 3	0	1	0	1		1		
11033	預金 4	0	1	0	1		1		
11034	預金 5	0	1	0	1		1		
*									
11080	受取手形	0	1	0			1		
11090	未収会費	0	1	0			1		

【注意】

資金収支科目と連携する科目については、必ず資金収支計算書（C/F）にも科目を挿入してください。C/F 科目との連携はあとで説明します。

7. 勘定科目の削除

- 削除したい科目の位置にカーソルポインタを移動して、「-」をクリックしてください。
- 確認表示の後に、削除が実行されます。
- 既に仕訳で使用した科目は削除しないで下さい。削除すると正常な会計処理が出来なくなります。

小科目の設定方法

- 次の例は「現金預金」に小科目を設定した例です。
- 「現金預金」科目のFlgAを「1」にします。
- 次の例では現金～預金5までの合計金額が「現金預金」に集計されます。

科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
11000	1. 流動資産	3	1	0					
11010	現金預金	1	1	0					
11020	現金	0	1	0	1	1			
11030	預金1	0	1	0	1	1			
11040	預金2	0	1	0	1	1			
11050	預金3	0	1	0	1	1			
11060	預金4	0	1	0	1	1			
11070	預金5	0	1	0	1	1			
11090	未収金	0	1	0			1		
11100	立替金	0	1	0			1		
11110	短期貸付金	0	1	0			1		

【補足事項】

- ・ 収入科目や支出科目に小科目を付けた場合は、その小科目に予算をいれてください。
- ・ 小科目の集計科目には仕訳入力出来ません。
- ・ 資金科目と連携する科目は、資金収支科目にも同様な小科目を設定してください。

8. 補助科目設定

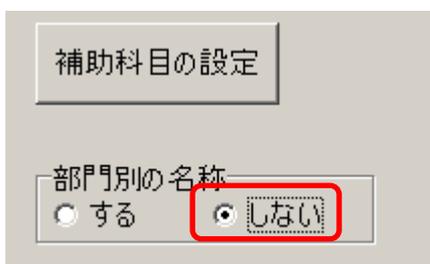
- 補助科目を付けたい科目の「補助科目」に1を入れると行が赤色にかかります。

科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
21300	1年以内返済サービス区分間長期借入金	0	1	1					50
21320	1年以内支払長期未払金	0	1	1					51
21340	未払費用	0	1	1			1		
21360	預り金	0	1	1		1	1		
21500	職員預り金	1	1	1					
21520	職員預り金(所得税)	0	1	1	1		1		

この行でダブルクリックをすると、次のような補助科目の設定画面が出ます。



- 補助科目コードは、001からの連番で設定してください。
- 補助科目の名称は、全部門に共通する名称になりますが、部門（経理）区分固有の名称にしたい場合は、次の”部門別の名称”を“する”にして後の説明を見てください。
- 門別に名称を変える必要が無い場合は“しない”にしてください。勘定科目の設定画面を閉じると、個別に設定した名称は消えて共通の補助科目名称になります。

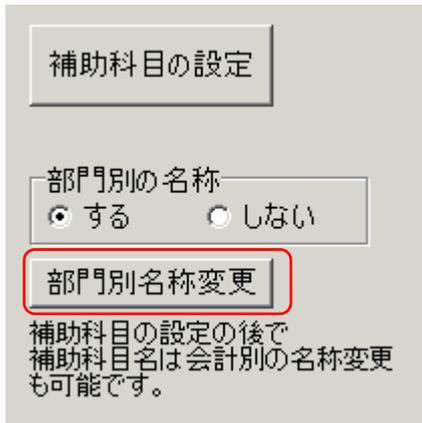


【補足事項】

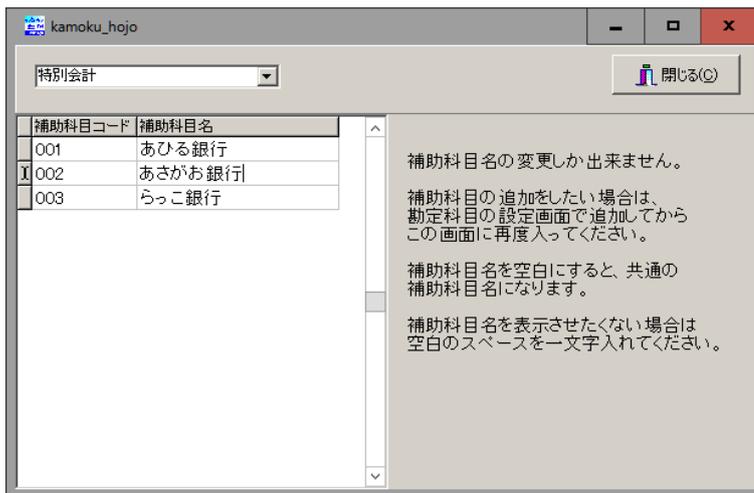
- 補助科目には、予算の入力が出来ません。
- 補助科目を付けた科目は、仕訳の入力で必ず何れかを選択してください。
もし、該当しないものがあると予想される場合は、999 その他 を入れてください。
- 繰越金が必要のないP/L科目では、補助科目よりも“摘要名集計”が便利です。

9. 部門別の補助科目名

- 勘定科目は、すべての部門で統一名称になりますが、補助科目は唯一部門ごとに独自の補助科目名にすることが出来ます。
- しかし、部門別の独自の名称にたくない場合は、“部門別の名称”を「しない」に選択して、勘定科目の設定画面を閉じると、すべての部門の補助科目名は統一されます。
- 部門別の名称変更は、下記のボタンを押してください。



- 部門別の名称変更は、この画面で行ってください。



【補足事項】

- ・ 先に補助科目を登録しないと補助科目名の変更はできません。また、この画面での補助科目の追加出来ません。
- ・ 補助科目を設定したのちは、会計別の名称が優先されます。”勘定科目の設定”で設定した名称に戻したい場合は、”部門別名称変更”のボタンを押して補助科目名を空白にして画面を閉じると元に戻ります。

10. 勘定科目（B/S、P/L）と資金収支科目の連携

資金収支科目との連携について

勘定科目と資金収支科目は、科目コード及び FlgH で連携しています。

科目コードによる連携	科目コードを一致させることにより、同一コードの収支科目に集計されます。 例えば、” 消耗品費 ” の科目コードは、P/L 科目と C/F 科目は同一にしないと、正しい処理ができません。
FlgH による連携	勘定科目(B/S,P/L)と収支科目が N:1(または 1:N)で連携する場合、科目コードだけでは一致させられないために、FlgH の値が一致する科目に金額が集計されるようにしています。 例えば、” 器具及び備品 ” の取得支出は科目コードで連携させますが、売却収入は” 売却益 ” とともに連携していますので FlgH で連携させます。

この連携が正しくないと正常な会計処理が出来ませんので、科目のカスタマイズを行う前にチェック表印刷で連携を確認し、変更後もチェック表印刷で見比べ確認をしてください。

下記の設定例は“社会福祉法人会計”の科目で説明しています。

資金収支科目との連携例

積立資産等の例

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)							
科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
12560	修繕費積立資産	0	1	0					
12580	備品等購入積立資産	0	1	0					
12600	保育所施設・整備積立資産	0	1	0					

固定資産の中にある” 備品等購入積立資産 ” は、資金収支科目では、収入科目では、取崩収入と連携しています。

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)							
連番	科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	FlgG	FlgH	
29500	12560	修繕費積立資産取崩収入	0	2	1				
29600	12580	備品等購入積立資産取崩収入	0	2	1				
29700	12600	保育所施設・整備積立資産取崩収入	0	2	1				

また支出科目では、次のように連携しています。

34500	12560	修繕費積立資産支出	0	2	0				
34600	12580	備品等購入積立資産支出	0	2	0				
34700	12600	保育所施設・整備積立資産支出	0	2	0				

【補足事項】

- ・ 積立預金の固定資産や借入金等の固定負債は、資金収支計算書では、1対1の総額集計に連携になります。

車両や器具及び備品などの固定資産の場合

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)							
科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
12120	土地	0	1	0				21	
12140	建物	0	1	0				22	
12160	構築物	0	1	0				23	
12180	機械及び装置	0	1	0				24	
12200	車輛運搬具	0	1	0				25	
12220	器具及び備品	0	1	0				26	

資金収支の支出科目は、科目コードで資産科目に対応しています。(赤枠)

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)							
連番	科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	FlgG	FlgH	
25500		固定資産取得支出		3	2	0			
25600	12020	基本財産土地取得支出		0	2	0			
25700	12040	基本財産建物取得支出		0	2	0			
25800	12120	土地取得支出		0	2	0			
25900	12140	建物取得支出		0	2	0			
26000	12160	構築物取得支出		0	2	0			
26100	12180	機械及び装置取得支出		0	2	0			
26200	12200	車輛運搬具取得支出		0	2	0			
26300	12220	器具及び備品取得支出		0	2	0			

収入科目は、P/L科目の売却益にも連携しますので、固定資産科目は、FlgH で連携させています。

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)							
連番	科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	FlgG	FlgH	
24000		固定資産売却収入		3	2	1			
24100	62240	土地売却収入		0	2	1			21
24200	62260	建物売却収入		0	2	1			22
24300	62280	構築物売却収入		0	2	1			23
24400	62300	機械及び装置売却収入		0	2	1			24
24500	62320	車輛運搬具売却収入		0	2	1			25
24600	62340	器具及び備品売却収入		0	2	1			26

【補足事項】

- ・ B/S科目を追加した場合、固定資産や固定負債と資金収支科目の連携は、基本的には総額集計になりますので、資金収支(C/F)科目には、収入科目と支出科目に対応する科目を設定してください。

収入科目の連携

P/L 科目

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)							
科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
45000	保育事業収益	3	2	1					
45100	保育所運営費収益	0	2	1					
45200	私的契約利用料収益	0	2	1					
45300	私立認定保育所利用料収益	0	2	1					

C/F 科目

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)							
連番	科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	FlgG	FlgH	
6800	45000	保育事業収入	3	2	1				
6900	45100	保育所運営費収入	0	2	1				
7000	45200	私的契約利用料収入	0	2	1				
7100	45300	私立認定保育所利用料収入	0	2	1				

支出科目の連携

P/L 科目

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)							
連番	科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	FlgG	FlgH	
18200	57000	事務費支出	3	2	0				
18300	57020	福利厚生費支出	0	2	0				
18400	57040	職員被服費支出	0	2	0				
18500	57060	旅費交通費支出	0	2	0				
18600	57080	研修研究費支出	0	2	0				

C/F 科目

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)							
科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
57000	事務費	3	2	0					
57020	事務費／福利厚生費	0	2	0					
57040	事務費／職員被服費	0	2	0					
57060	事務費／旅費交通費	0	2	0					
57080	事務費／研修研究費	0	2	0					

【補足事項】

- ・ P/L 科目と C/F 科目の連携は、収入または支出のどちらかになります。
- ・ 減価償却費、基本金組入額、引当金組入額など非資金取引は C/F 科目には対応する科目がありません。

11. 充当額に係る科目設定（公益法人会計固有の設定）

基本財産・特定資産のうち充当額に係る固定資産の科目には、補助科目に1を入れ FlgG に11を入れます。

勘定科目(B/S,P/L) 資金収支の科目(C/F)		FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
12100	(1) 基本財産	9	1	0					
12200	土地	0	1	0		1	11		
12300	建物	0	1	0		1	11		
12400	投資有価証(基本財産)	0	1	0		1	11		
12500	基本財産特定預金	0	1	0		1	11		
12600	基本財産合計	2	1	0					
13000	(2) 特定資産	9	1	0					
13100	退職給付引当資産	0	1	0					
13200	減価償却引当資産	0	1	0		1	11		
13300	特定資産積立資産	0	1	0		1	11		
13400	投資有価証券(特定資産)	0	1	0		1	11		
14000	特定資産合計	2	1	0					
15000	(3) その他の固定資産	9	1	0					

上記の科目の補助科目は次のようにします。

基本財産の補助科目

コード	補助科目名
921	指定正味財産
922	一般正味財産

特定資産の補助科目

コード	補助科目名
923	指定正味財産
924	一般正味財産

正味財産の部の充当額の科目には、FlgG に次のような設定をしてください。

勘定科目(B/S,P/L) 資金収支の科目(C/F)		FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
31990	指定正味財産合計	3	1	1					
32020	(うち基本財産への充当額)	-1	1	1			921		
32030	(うち特定資産への充当額)	-1	1	1			923		
35000	2. 一般正味財産	9	1	1					
35010	一般正味財産	0	1	1			110		
35020	一般正味財産合計	3	1	1					
35040	(うち基本財産への充当額)	-1	1	1			922		
35050	(うち特定資産への充当額)	-1	1	1			924		
39000	正味財産合計	4	1	1			140		

【補足事項】

- ・ 青色表示になる補助科目は、システム処理で使用していますので、変更しないでください。
- ・ 科目を追加した場合は、上記例のように補助科目を付けてください。

12. 指定正味財産に係る科目設定（公益法人会計固有の設定）

正味財産の部の指定正味財産には、FlgGに次のようなフラグを入れてください。

勘定科目(B/S,P/L) 資金収支の科目(C/F)		FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
30000	Ⅲ 正味財産の部	9	1	1					
31000	1. 指定正味財産	9	1	1					
31010	国庫補助金	0	1	1			901		
31020	地方公共団体補助金	0	1	1			902		
31030	民間補助金	0	1	1			903		
31040	国庫助成金	0	1	1			904		
31050	地方公共団体助成金	0	1	1			905		
31060	民間助成金	0	1	1			906		
31070	受取負担金	0	1	1			907		
31080	寄付金	0	1	1			908		
31090	受贈土地	0	1	1			909		
31100	受贈投資有価証券	0	1	1			910		
31105	基本財産受取利息	0	1	1			911		
31110	基本財産評価損益	0	1	1			912		
31120	特定資産評価損益	0	1	1			913		
31990	指定正味財産合計	3	1	1					

P/L科目の指定正味財産の部には、FlgGに次のようなフラグを入れてください。

勘定科目(B/S,P/L) 資金収支の科目(C/F)		FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
70000	Ⅱ 指定正味財産増減の部	9	2	1					
70010	指/受取国庫補助金	0	2	1			901		
70020	指/受取地方公共団体補助金	0	2	1			902		
70030	指/受取民間補助金	0	2	1			903		
70040	指/受取国庫助成金	0	2	1			904		
70050	指/受取地方公共団体助成金	0	2	1			905		
70060	指/受取民間助成金	0	2	1			906		
70070	受取補助金等計	3	2	1					
70080	指/受取負担金	0	2	1			907		
70090	受取負担金計	3	2	1					
70100	指/受取寄付金	0	2	1			908		
70110	受取寄付金計	3	2	1					
70120	指/土地受贈益	0	2	1			909		
70130	指/投資有価証券受贈益	0	2	1			910		
70140	固定資産受贈益計	3	2	1					
70150	指/基本財産受取利息	0	2	1			911		
70160	基本財産受取利息計	3	2	1					
70170	指/基本財産評価益	0	2	1			912		
70180	基本財産評価益計	3	2	1					
70190	指/特定資産評価益	0	2	1			913		
70200	特定資産評価益計	3	2	1					
70210	指/基本財産評価損	0	2	1			912		
70220	基本財産評価損計	3	2	1					
70230	指/特定資産評価損	0	2	1			913		
70240	特定資産評価損計	3	2	1					

13. 一般正味財産への振替額（公益法人会計固有の設定）

一般正味財産への振替額の FlgG に 920 を入れ補助科目に 1 を入れます。

勘定科目(B/S,P/L) 資金収支の科目(C/F)		FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
70240	特定資産評価損計	3	2	1					
70250	一般正味財産への振替額	0	2	1		1	920		
70260	一般正味財産への振替額計	3	2	1					
70270	当期指定正味財産増減額	4	2	1			134		

この科目への補助科目は次のようにします。

コード	補助科目名
901	国庫補助金
902	地方公共団体補助金
903	民間補助金
904	国庫助成金
905	地方公共団体助成金
906	民間助成金
907	負担金
908	寄付金
911	基本財産受取利息
912	基本財産評価益・損
913	特定資産評価益・損

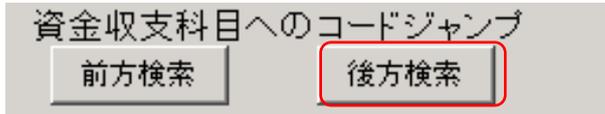
【補足事項】

- ・ 青色表示になる補助科目は、システム処理で使用していますので、変更しないでください。
- ・ 科目を追加した場合は、上記例のように補助科目を付けてください。

14. 科目連携のチェックについて

資金科目へのコードジャンプについて

- 例えばコード22020「長期運営資金借入金」の科目にカーソルポインタを移動して、コードジャンプの後方検索を実行すると、連携している資金収支科目「長期運営資金借入金収入」の科目にジャンプし、もう一度後方検索のボタンを押すと、「長期運営資金借入金償還金支出」にジャンプします。



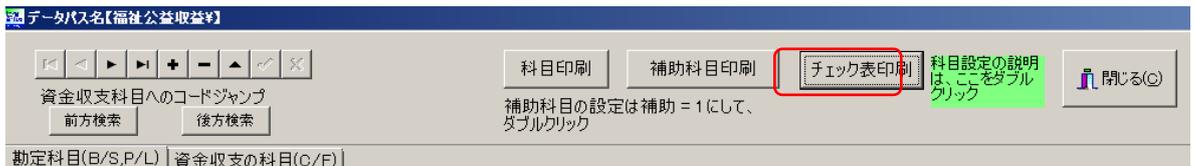
- このようにこのコードジャンプは勘定科目と収支科目の連携の確認がすばやく出来ます。

【注意】

- FlgHによる連携は、コードジャンプでは飛びませんので、FlgHの欄を見て確認してください。

資金科目との連携チェック

- 「チェック表印刷」のボタンを押すと、



勘定科目と資金科目の連携チェック表が印刷できますので、連携のチェックを行ってください

コード	勘定科目名	A	B	C	E	D	G	H	連携する資金の借方科目	A	B	C	E	D	G	H	連携する資金の貸方科目	A	B	C	E	D	G	H
12460	長期貯蓄積立資産	0	1	0					長期貯蓄積立資産支出	0	2	0					長期貯蓄積立資産取崩収入	0	2	1				
12480	減価償却積立資産	0	1	0					減価償却積立資産支出	0	2	0					減価償却積立資産取崩収入	0	2	1				
12500	措置経費繰越積立資産	0	1	0					措置経費繰越積立資産支出	0	2	0					措置経費繰越積立資産取崩収入	0	2	1				
12520	移り等特別積立資産	0	1	0					移り等特別積立資産支出	0	2	0					移り等特別積立資産取崩収入	0	2	1				
12540	人件費積立資産	0	1	0					人件費積立資産支出	0	2	0					人件費積立資産取崩収入	0	2	1				
12560	修繕費積立資産	0	1	0					修繕費積立資産支出	0	2	0					修繕費積立資産取崩収入	0	2	1				
12580	備品等購入積立資産	0	1	0					備品等購入積立資産支出	0	2	0					備品等購入積立資産取崩収入	0	2	1				
12600	保育所施設等整備積立資産	0	1	0					保育所施設等整備積立資産支出	0	2	0					保育所施設等整備積立資産取崩収入	0	2	1				
12640	認借等整備積立資産	0	1	0					認借等整備積立資産支出	0	2	0					認借等整備積立資産取崩収入	0	2	1				
12660	その他の積立資産	0	1	0					その他の積立資産支出	0	2	0					その他の積立資産取崩収入	0	2	1				
12680	差入保証金	0	1	0					差入保証金支出	0	2	0					差入保証金収入	0	2	1				
12700	長期借入費用	0	1	0					長期借入費用支出	0	2	0					長期借入費用収入	0	2	1				
12720	その他の固定資産	1	1	0																				
12740	その他の固定資産	0	1	0	1				その他の固定資産支出	0	2	0					その他の固定資産収入	0	2	1				
12760	リサイクル積立金	0	1	0	1				リサイクル積立金支出	0	2	0					リサイクル積立金収入	0	2	1				
19800	資産の部合計	4	1	0																				

【補足事項】

- 最終的な確認は、テスト仕訳を行って、期待通りになっていることを確認してください。